**【様式３】　　　　　意思推定に基づく代行決定に関するアセスメントシート**

**Ⅰ．概要**□【様式２】と同じにつき記載省略

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **本　人** |  | **記入者** |  | **本人との関係** |  |
| **テーマ****(課題となる意思決定)** |  |
| **過去の支援状況** | □【様式１】添付　□【様式２】添付 |
| **実施日** | 　　　　年　　月　　日　　時　　分～　　時　　分　場所（　　　　　　　　　　） |
| **検討メンバー** |  |

**Ⅱ．意思推定に基づく代行決定を行うにあたっての検討**

|  |  |
| --- | --- |
| **前提（決定期限）** | 意思決定の期限が迫っており、これ以上延長できない状態か？□延長できない（期限：　　年　　月　　日まで）　□延長できる　➡　【様式１】へ戻る。 |
| **本人が自ら意思決定をすることができたとすれば、どのような意思決定を行うかを推定できるか？** | □推定可　➡　推定意思の内容□推定困難　➡　理由 |
| **本人の意思推定のために明確な根拠となり得るエピソード、情報提供者、関連資料など** |  |
| **代行決定に当たっての留意事項****※チェックできない項目がある場合には、第１～第３原則に沿った支援ができていたかどうか、チームで再度検討してください。** | □結論が先にありきになっていない。本シートが結論の後付けの根拠資料として使われていない。□本人以外の関係者の問題を本人の問題としてすり替えていない。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□支援のしやすさを優先していない。支援者のための根拠付けになっていない。（サービスの利用を検討している場合のみ）□サービス利用ありきになっていない。 |

➡上記検討の結果、

□推定意思の実現を支援する。

□推定意思を実現すると本人にとって見過ごすことができない重大な影響が懸念される

　⇒本人にとって見過ごすことができない重大な影響が懸念される場合の検討（様式４）へ

□意思の推定すら困難

⇒最善の利益に基づく代行決定の検討（様式５）へ